

高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第22週（5月28日～6月3日）

★ お知らせ

○百日咳に注意して！

定点医療機関からの報告が定点当たり前週の0.43から0.67に増加しました。感染力が強いですので注意してください。予防法は入念な手洗いうがいや咳エチケットです。感染の恐れがある人は、咳やくしゃみをする時にティッシュやマスクを口と鼻にあて、他人への飛沫感染を防ぎましょう。

○感染性胃腸炎に注意して！

定点医療機関からの報告が定点当たり前週の9.63から9.57に減少しましたが、例年と比較すると高い値で推移しているので注意が必要です。外出後の手洗い、食事前やトイレの後の手洗いの励行をお願いします。

○水痘に注意して！

定点医療機関からの報告が定点当たり前週の2.10から2.70に増加しました。予防法は、感染源の人との接触をさけることが重要です。また、発疹や水疱をかきむしらないようにするため、爪は短く切り、手にもウイルスがついている場合があるのでよく洗って清潔にしてください。

○伝染性紅斑に注意して！

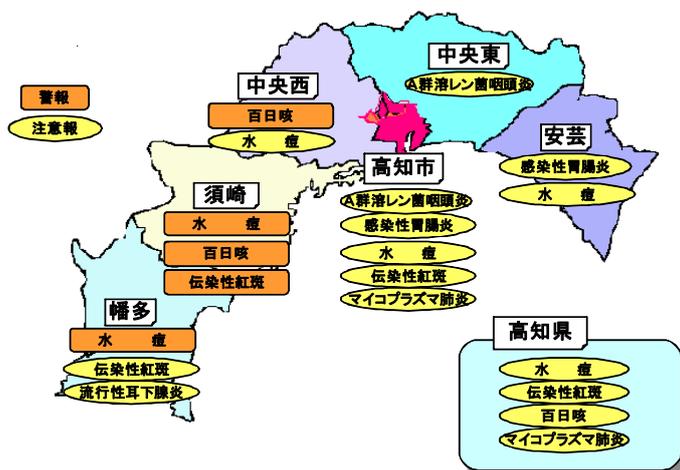
定点医療機関からの報告が定点当たり前週の0.73から1.13に増加しました。頬に発疹がでる7～10日くらい前に微熱や感冒様症状が見られることが多く、この時期にウイルスの排出量をもっとも多くなります。飛沫感染、接触感染が考えられるので手洗い、うがいを励行してください。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数(人)	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	9.57	安芸、幡多、高知市、中央西で増加した。高知市、安芸では意報値を超している。
水痘	↗	2.70	幡多、中央西、中央東、安芸で増加した。幡多、須崎では警報値を超している。中央西、高知市、安芸では注意報値を超している。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1.87	中央西、中央東で増加し、高知市、中央東では注意報値を超している。
伝染性紅斑	↗	1.13	須崎、幡多、安芸、中央東、高知市で増加した。須崎では警報値を超している。幡多、高知市では注意報値を超している。
マイコプラズマ肺炎	↘	0.88	高知市で減少した。引き続き注意報値を超している。

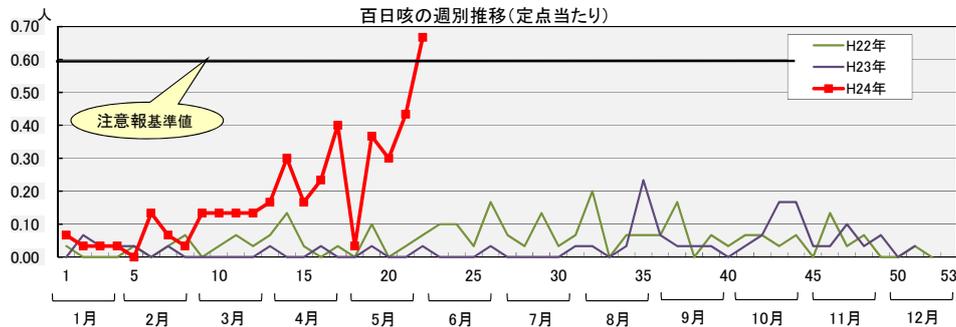
★ 地域別感染症発生状況



★ 気をつけて！

○ **百日咳：0.67**（注意報値：0.60 警報値：1.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 0.67 と前週の 0.43 から増加し注意報値を超している。須崎 5.00、中央西 1.33 と警報値を超している。病原体定点からの検体から *Bordetella pertussis* が 25 例検出されている。感染力が強いのがい手洗いなど一般的な予防法の励行と咳エチケットとしてマスクを着用しましょう。



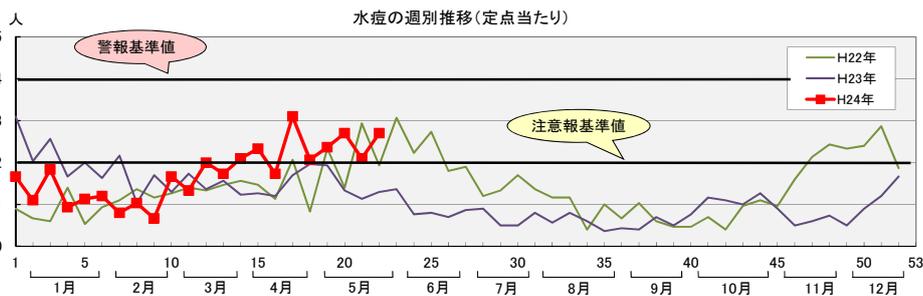
○ **感染性胃腸炎：9.57**（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 9.57 と前週の 9.63 から減少した。安芸 12.00、幡多 10.60、高知市 14.00、中央西 8.67 で増加し、高知市、安芸では注意報値を超している。外出後の手洗い、食事前やトイレ後の手洗いに気を付けてください。



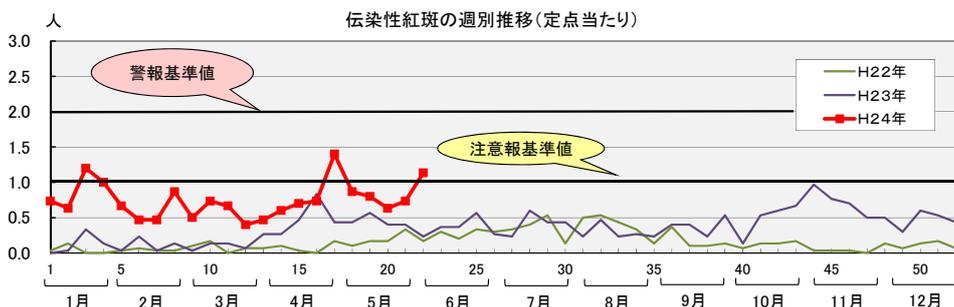
○ **水痘：2.70**（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 2.70 と前週の 2.10 から増加し注意報値を超している。幡多 6.00、中央西 3.00、中央東 1.00、安芸 2.00 で増加し、幡多、須崎では警報値を超している。中央西、高知市、安芸では注意報値を超している。感染力が比較強く空気感染、接触感染で感染するので、手洗い、うがいを励行してください。



○ **伝染性紅斑：1.13**（注意報値：1.00 警報値：2.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 1.13 と前週の 0.73 から増加し注意報値を超している。須崎 3.00、幡多 1.80、安芸 0.50 中央東 0.86、高知市 1.00 で増加し、須崎では警報値を超している。幡多、高知市では注意報値を超している。手洗いうがいなど一般的な予防法を励行してください。



★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況	受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
22	インフルエンザ	15	男	高知市	Influenza virus B NT	22	百日咳	14	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
22	感染性胃腸炎	1	女	中央東	Rotavirus group A NT	22	百日咳	10	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
22	百日咳	3	男	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>	22	百日咳	5	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
22	百日咳	0	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>	22	百日咳	9	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
22	百日咳	0	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>	22	百日咳	13	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
22	百日咳	8	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>	22	百日咳	6	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
22	百日咳	1	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>	22	百日咳	12	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
22	百日咳	6	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>	22	百日咳	1	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
22	百日咳	8	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>	22	百日咳	3	女	中央西	<i>Bordetella pertussis</i>
22	マイコプラズマ感染	6	女	中央東	<i>Bordetella pertussis</i>	22	マイコプラズマ	11	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
22	百日咳	13	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>	22	マイコプラズマ	13	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
22	百日咳	3	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>	22	感染性胃腸炎	12	女	須崎	<i>Campylobacter jejuni</i>
22	百日咳	10	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>	22	百日咳	6	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
22	百日咳	14	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>	22	マイコプラズマ	3	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
22	百日咳	13	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>	22	マイコプラズマ	9	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
22	百日咳	13	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>						

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
19	気管支炎	1	男	高知市	Adenovirus 2
20	気管支炎	1	男	高知市	Human bocavirus

* 「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結核	64	5	30歳代（男）80歳代（男）	中央東
				30歳代（男）80歳代（女）	高知市
				70歳代（男）	幡多
4類	レプトスピラ症	1	1	50歳代（男）	幡多

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安芸	田野病院小児科	ロタウイルス胃腸炎2例（2、6歳男）、アデノウイルス胃腸炎1例（4歳男）
中央東	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎1例（4歳女）、アデノウイルス感染症2例（1、4歳女） ロタウイルス感染性胃腸炎1例（1歳男）
	高知大学医学部小児科	ロタ腸炎2例（7ヶ月、9ヶ月女）、ノロウイルス腸炎1例（5歳男）
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎3例4、6、7歳女）、アデノウイルス扁桃炎1例（0歳男） 百日咳2例（16歳女 東浜株×1280 山口株×320 36歳男 東浜株×160 山口株×1280）
	細木病院小児科	ロタウイルス感染6例（11ヶ月、1歳2名、3歳2名、0歳女）
	福井小児科・内科・循環器科	アデノウイルス咽頭炎1例（1歳男）、百日咳1例（38歳女 東浜株1280倍）
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎1例（6歳女）
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎1例（1歳男）
須崎	もりはた小児科	アデノ扁桃炎1例（2歳女）、マイコプラズマ肺炎1例（5歳女） 21wカンピロバクター腸炎2例（9、12歳）

★ 全国情報

第19週 (5/14～5/20)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核402例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症32例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎3例、A型肝炎7例、つつが虫病9例、デング熱2例、日本紅斑熱4例、ライム病1例、レジオネラ症12例

5類感染症：アメーバ赤痢16例、ウイルス性肝炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群17例、ジアルジア症1例、梅毒10例、破傷風3例、風しん24例、麻しん7例

報告遅れ：コレラ1例、細菌性赤痢1例、マラリア2例、急性脳炎8例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

◆ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌 (*Streptococcus pyogenes*) はその侵入部位や組織によって多彩な症状を引き起こす。また、時に稀ながら発症機序がまだ不明である劇症型溶血性レンサ球菌感染症の原因となることがあるが、本項では、通常主に小児の間で発生する疾患であり、感染症法によって5類感染症定点把握疾患と定められているA群溶血性レンサ球菌咽頭炎について述べる。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、本邦を含めた温帯地域を中心に広く世界的に分布している感染症である。潜伏期間は2～5日であり、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴う。通常発熱は3～5日以内に下がり、主症状は1週間以内に消失する予後良好の疾患であるが、菌が産生する毒素に免疫のない場合は猩紅熱に発展する場合がある。治療にはペニシリン系抗菌薬が第1選択薬とされているが、ペニシリンアレルギーがある場合はマクロライド系やセフェム系の抗菌薬が投与される。リウマチ熱や急性糸球体腎炎など非化膿性の合併症予防のために、少なくとも10日間は確実に投与することが必要である。

感染経路はヒトからヒトへの飛沫感染や接触感染が主であるが、食品を介する経口感染もあるといわれている。通常は患者との接触を介して伝播するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときに発生しやすく、家庭での兄弟間や、学校、幼稚園、保育園などの小児の集団生活施設内での感染も多い。感染性は急性期に最も強く、その後徐々に減弱する。無症候性病原体保有者も存在するが、症状のない保菌者からの感染は稀であると考えられている。

予防としては、患者との濃厚接触を避けることが最も重要であり、うがい、手洗いなどの一般的な予防法も励行すべきである。マスクを用いた咳エチケット（咳やくしゃみを発する者が周囲への感染予防のためにマスクを着用すること）も効果が期待できる。

全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づく感染症発生動向調査によると、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生報告数は例年学校、幼稚園等の春期休暇の終了後に増加し、ゴールデンウィーク期間中に一旦減少がみられるものの、その後再び増加し、第22週か第23週に春期～夏期間中の流行のピークを迎えることが多い。2012年第20週の定点当たり報告数は2週連続で増加して2.56（報告数8,073）となり、過去10年間の同時期の報告数では2008年に次ぐ高い値である（図1）。都道府県別では富山県（5.21）、大分県（4.94）、宮崎県（4.14）、福井県（4.09）、北海道（4.01）、愛媛県（3.92）、山形県（3.83）の順となっている。38都道府県で前週より増加がみられた。累積報告数の年齢群別割合をみると、4～5歳、6～7歳、2～3歳、8～9歳の順に高く、2～9歳が発生の中心であり、9歳以下で全報告数の85%前後を占めているのは例年と同様である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者発生数は更に増加し、間もなく春期から夏期の期間中での流行のピークを迎えるものと予想される。今しばらくはA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生動向に対する注意が必要である。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第22週 平成24年5月28日(月)～平成24年6月3日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第22週							計	前週	全国(21週)	高知県(22週末累計) H24/1/2～H24/6/3	全国(21週末累計) H24/1/2～H24/5/27
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ			1		2		1		4 (0.08)	9 (0.19)	2,236 (0.46)	16,393 (341.52)	1,616,031 (328.19)
小児科	咽頭結膜熱			4	3	2				9 (0.30)	10 (0.33)	1,446 (0.46)	67 (2.23)	16,978 (5.40)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	16	27	5			5	56 (1.87)	62 (2.07)	8,522 (2.70)	1,216 (40.53)	133,121 (42.34)	
	感染性胃腸炎	24	26	154	26	4		53	287 (9.57)	289 (9.63)	28,826 (9.15)	4,967 (165.57)	541,856 (172.35)	
	水痘	4	7	23	9	8		30	81 (2.70)	63 (2.10)	4,560 (1.45)	1,220 (40.67)	96,428 (30.67)	
	手足口病		1	3				1	5 (0.17)	2 (0.07)	563 (0.18)	26 (0.87)	8,061 (2.56)	
	伝染性紅斑	1	6	11	1	6		9	34 (1.13)	22 (0.73)	479 (0.15)	516 (17.20)	11,750 (3.74)	
	突発性発疹	1		9	2			1	13 (0.43)	15 (0.50)	1,980 (0.63)	256 (8.53)	32,934 (10.48)	
	百日咳			6	4	10			20 (0.67)	13 (0.43)	117 (0.04)	132 (4.40)	1,401 (0.45)	
	ヘルパンギーナ	3		1				6	10 (0.33)	3 (0.10)	702 (0.22)	33 (1.10)	2,807 (0.89)	
	流行性耳下腺炎		1	8		1		5	15 (0.50)	15 (0.50)	1,291 (0.41)	446 (14.87)	31,736 (10.09)	
RSウイルス感染症			1				1	2 (0.07)	()	394 (0.13)	614 (20.47)	24,321 (7.74)		
眼科	急性出血性結膜炎								()	()	11 (0.02)	()	225 (0.33)	
	流行性角結膜炎			1					1 (0.33)	4 (1.33)	380 (0.56)	21 (7.00)	7,503 (11.05)	
基幹	細菌性髄膜炎								()	1 (0.13)	15 (0.03)	6 (0.86)	189 (0.41)	
	無菌性髄膜炎								()	()	17 (0.04)	9 (1.29)	252 (0.54)	
	マイコプラズマ肺炎			7					7 (0.88)	9 (1.13)	442 (0.95)	86 (12.29)	7,897 (16.98)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	()	13 (0.03)	1 (0.14)	273 (0.59)	
計 (小児科定点当たり人数)	36 (18.00)	62 (8.80)	254 (22.36)	51 (16.74)	30 (14.75)	111 (22.20)	544 (17.82)			51,994	26,009 (657.96)	2,533,763		
前週 (小児科定点当たり人数)	19 (9.50)	87 (12.42)	248 (21.08)	34 (11.20)	49 (24.25)	80 (16.00)		517 (16.65)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第22週							計	前週	全国(21週)	高知県(22週末累計) H24/1/2～H24/6/3	全国(21週末累計) H24/1/2～H24/5/27
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ		0.09		0.40	0.25			0.08	0.19	0.46	341.52	328.19	
小児科	咽頭結膜熱		0.57	0.27	0.67				0.30	0.33	0.46	2.23	5.40	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	2.29	2.45	1.67		1.00	1.87	2.07	2.70	40.53	42.34		
	感染性胃腸炎	12.00	3.71	14.00	8.67	2.00	10.60	9.57	9.63	9.15	165.57	172.35		
	水痘	2.00	1.00	2.09	3.00	4.00	6.00	2.70	2.10	1.45	40.67	30.67		
	手足口病		0.14	0.27			0.20	0.17	0.07	0.18	0.87	2.56		
	伝染性紅斑	0.50	0.86	1.00	0.33	3.00	1.80	1.13	0.73	0.15	17.20	3.74		
	突発性発疹	0.50		0.82	0.67		0.20	0.43	0.50	0.63	8.53	10.48		
	百日咳			0.55	1.33	5.00		0.67	0.43	0.04	4.40	0.45		
	ヘルパンギーナ	1.50		0.09			1.20	0.33	0.10	0.22	1.10	0.89		
	流行性耳下腺炎		0.14	0.73		0.50	1.00	0.50	0.50	0.41	14.87	10.09		
RSウイルス感染症			0.09			0.20	0.07			0.13	20.47	7.74		
眼科	急性出血性結膜炎									0.02		0.33		
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	1.33	0.56	7.00	11.05		
基幹	細菌性髄膜炎								0.13	0.03	0.86	0.41		
	無菌性髄膜炎									0.04	1.29	0.54		
	マイコプラズマ肺炎			1.40				0.88	1.13	0.95	12.29	16.98		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.03	0.14	0.59		
計 (小児科定点当たり人数)	18.00	8.80	22.36	16.74	14.75	22.20	17.82			657.96				
前週 (小児科定点当たり人数)	9.50	12.42	21.08	11.20	24.25	16.00		16.65						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1(保健衛生総合庁舎2階)

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869